

案件化調査

タンザニア国 コメ・バリューチェーン向上のための光選別機導入にかかる案件化調査

企業・サイト概要

- 提案企業：株式会社 サタケ
- 提案企業所在地：東京都千代田区
- C/P機関(案)：農業省機械化局、キリマンジャロ農業研修センター、農業省研修所
- サイト(案)：タンザニア国 ムベヤ、イファカラ等の精米クラスター

タンザニア国の開発課題

- 収穫後処理技術が未発達である
- 未成熟米や異物の混入がある
- 国産米が低品質かつ低価格である
- 輸入米との競合で負けている

中小企業の技術・製品

- 搗精されたコメにおけるシラタなどの未熟粒、着色粒、病害虫被害米などを、画像処理技術により色の違いを感知することで、高い精度で取り除くことができる。



提案製品：光選別機

調査を通じて提案されるODA事業及び期待される効果

- 将来のODA事業におけるプロジェクト目標：
大・中規模精米所が精米の品質向上の重要性について理解し、光選別機の導入が進む
- 成果：精米業者による光選別機を使ったビジネスモデルが確立される
- 成果：光選別機導入者の所得が向上し、評判が広がり、機械の需要が拡大する
- 成果：機械化された選別作業により、コメ品質が保証され、市場に対して流通範囲が拡大する

日本の中小企業のビジネス展開

- 案件化調査・普及実証ビジネス化事業後は、自社販売活動に繋げて10年後に黒字化を目指す
- 農機代理店との協力関係を強化しつつ、各地で光選別機の周知に努め、最終的には国外販売も目指す
- 光選別機を起点に精米クラスター化が起こり、バリューチェーン拡大がけん引され、機械の需要拡大に繋がる